







県議会各会派との懇談会

子どもの貧困や地域での 19 見守り活動などについて 懇談しました

> 12月、生協への理解を深め、 意見交換を行う場として、埼玉県 議会4会派30人の県議会議員 と懇談しました。









尚彦会長理事より、生協の取り組みについて報告しました

各界を代表する皆さんと 懇親を深めました

出席者との懇談やネットワークづくりの場、会員生協への 理解を広げ、生協の認知度をアップする場として、64人の 皆さんの出席で開催し、大野元裕埼玉県知事をはじめ、 各界を代表する皆さんにごあいさついただき、懇親を深め ました。







2月7日上尾会場には11団体32人が参加しました

埼玉県委託事業 県内消費者団体地区別研修会 プラスチックごみの現状と 2/10 自分に何ができるか



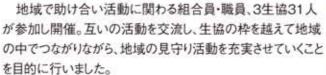
県内4会場で「プラスチックごみの現状を学ぶ ~持続可能 な社会をこどもたちに~」と題して、(一社)JEANによる講演と ワークショップを行い、のべ35団体100人が参加しました。 深刻なプラスチックごみ問題は、海なし県に住む私たちの 生活と決して無関係ではなく、一人ひとりが当事者である ことがよくわかったとの声がありました。





助け合い活動交流会

地域で連携をとの声が 出されました











写真ニュース

県内生協の活動を写真で伝える情報誌

2020

(2020年4月発行)

第25回JA埼玉県女性組織協議会と埼玉県生協連の早春交流会 多様な視点に配慮した避難所運営について

2/12 一緒に学び、交流しました













JA埼玉県女性組織協議会会長

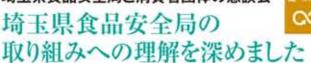
梁嶋美津江さん

あいさつする埼玉県生益連常務理事

根岸章王食品安全局長から日頃の取り組みを説明いただきました

埼玉県食品安全局と消費者団体の懇談会 埼玉県食品安全局の

たちの役割について考える機会となりました。







消費者の理解を広げるために、リスクコミュニケーションを

CSF(豚熱)について、HACCPに関する取り組み 安全局から7人の参加で、食の安全・安心についての 埼玉県の取り組みを理解する場となりました。

NPO法人男女共同参画おおた理事長 坂田静香さんを講師に「地域力を高めて

安心・安全な避難所運営」と題してお話をお聞きし、女性の視点の大切さと自分

広がる県内生協の多彩な活動

生活クラブ生活協同組合

埼玉初! 生活クラブのお店 「デポー浦和」オープン

3月20日(金)、生活クラブ生協埼玉のお店「デボー」1号店が浦和の調(つき)神社前にオープンしました。1,000名の仲間づくりを目指して、昨年9月から組合員と事務局が力を合わせ、デボー市(プレイベント)、キャラバン(展示説明会)、戸別訪問、チラシまきなどの仲間づくりを行ってきました。オープン直前の3月は、毎日プレオープン(仮営業)して、一部販売や事前加入の受付、説明を行いました。



医療生協さいたま生活協同組合

地域の「困った」を「安心」に つなげます 315555 115555

3 :::::::: -W-







さいたま住宅生活協同組合

さらなる前進を目指して

「新春のつどい」開催

1月30日(木)、さいたま共済会館において「新春のつどい」を 開催しました。住宅生協の総代、協力業者、県生協連をはじめと する関係する多くの来賓のみなさんとさいたま住宅生協の理事・ 職員が一堂に会し、親しく懇談しました。

昨年埼玉に大きな被害をもたらした自然災害が今後も発生 する可能性があること、日本の経済見通しも、消費税の増税に よってかなりの影響があるのではないかなど、厳しい経済状況 の中、心ひとつにして難局を乗り切ることを誓い合いました。

生活協同組合コープみらい

第7回 食品産業もったいない大賞 農林水産省食料産業局長賞受賞









塩川白良 農林水産省食料産業局長(右) 表彰状を受け取る 永井伸二郎コープデリ連合会副理事長

コープみらいが加盟する コープデリ連合会は、食べ られるのに廃棄される食品 =食品ロスを削減する「みらい につなぐもったいない」の取り 組みを、組合員や生産者など とともに進めています。傷や サイズ違いで規格外となる 農産物の取り扱いやフード バンク等への食品寄贈など の取り組みが評価され、受賞

*食品産業もったいない大賞とは

食品産業の持続可能な発展に向け顕著な実績を挙げている 取り組みを世の中に広く周知することにより、食品産業全体での 地球温暖化防止・省エネルギー対策及び食品ロス削減等を促進 することを目的とした表彰制度

(主催:公益財団法人 食品等流通合理化促進機構)

生活協同組合パルシステム埼玉

「商品開発チーム 2019活動報告会」を開催





2月15日(土)、パルシステム連合会と会員生協9つの商品 開発チーム・メーカーが協力して開発した商品の報告会が開催 されました。

各チームから開発商品の発表を行い、コンセプトや開発の苦労、 工夫した点などを掲げ、おすすめ点をアピールしました。

パルシステム埼玉の商品開発チーム「Fish,Fish,Fish!」の活動テーマは「フライパンひとつでできる魚の主菜料理」。「めかじきの切身」などでおなじみの(株)城ケ島水産と試行錯誤を繰り返しながら開発を進め、「フライバンで簡単!まぐろ漬けカツ」が完成しました。

埼玉県労働者共済生活協同組合 (こくみん共済coop<全労済>)

で寄せ合いました。集まった1100件の「困った」を、「外出・交通」

「災害・犯罪」「つながり」「認知症」など、9つのカテゴリーに分類

する作業が終わりました。今後は、「組合員どうしの助け合いでできる

ことはあるか」「事業所でできることは何か」「生協間の連携でできる

ことはあるか」など、組合員と職員がいっしょに検討し、地域で暮らす

第47回「小学生作品コンクール」を実施

埼玉県知事賞

地域で直面している

「困った」事例を地域別

総代·支部代表者会議

「安心」につなげていきます。



「朝と夕方の送りむかえ」 田市立新曽北小学校5年 ト田 売々なん



こくみん共済coop

「かんしょう用カラフルじゃがいも」 川口市立戸塚綾瀬小学校6年 宝宝田 美月女人

こくみん共済 coop <全労済>では、社会貢献活動の一環として 子どもたちの豊かな心の成長を願い、1973年から小学生を対象に 作文・版画のコンクールを開催し、今回で47回目を迎えました。埼玉県 内の小学生から作文・版画の両部門あわせて607点の応募を いただき、埼玉県知事賞、こくみん共済 coop埼玉推進本部長賞を はじめとした各賞を選定しました。

なお、2月22日(土)に予定した表彰式は、新型コロナウイルスの影響 を考慮して中止しました。

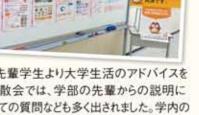
埼玉大学生活協同組合

保護者のつどいを開催





2月29日(土)に埼玉 大学生協学生委員会 が「保護者のつどい」を 開催しました。2月まで に推薦・AO入試などで 合格した新入生とその



保護者35名が参加し、先輩学生より大学生活のアドバイスを受けました。学部別の分散会では、学部の先輩からの説明に対して、資格、就職についての質問なども多く出されました。学内の施設の紹介も行い、その後食堂で昼食体験をしていただきました。保護者の方は、普段、学生が食べているメニューが分かり、大変喜ばれていました。